

紫波町公有財産の活用にかかるサウンディング型市場調査 結果概要

高度経済成長期に集中的に整備された公共施設の老朽化が進んでいることもあり、既存施設の管理においては維持・更新だけではなく、再編統合や廃止など、今後、さらなる行財政改革を推進することが必要となっています。そこで、町有財産について、市民や民間事業者等の自由で創意工夫に富んだアイデアやノウハウを生かして利活用を行う提案を募集し、効果的かつ効率的に活用を図ることを目的にサウンディング型市場調査を実施しています。

本調査について実施結果を取りまとめましたので、その概要を公表します。

1. 実施概要

(1) 対象施設

水分こどもの家（紫波町吉水字中村 66 番地 7）※令和 7 年 3 月末閉館予定
旧東部保育所（紫波町彦部字暮坪 176 番地 1）
旧赤沢児童館（紫波町赤沢字駒場 1 番地 1）

(2) 実施期間

令和 6 年 11 月 22 日から令和 6 年 12 月 11 日まで

2. 対話概要

(1) 対話者数

3 者

(2) 提案事業の内容

- ・ 運送事業のための営業所
- ・ ビーチバレーボールの練習場
- ・ 生活支援等地域コミュニティの維持のための拠点づくり

3. 今後の予定

民間事業者の皆様からいただいたご意見を参考に、また、必要に応じ継続的な協議を行い、活用方針の策定や今後の事業展開に向けた検討を行います。